

住み慣れた地域で、自分らしい生活を、送るために

台東区

在宅療養支援窓口通信

令和4年3月号

No. 8

在宅療養にお困りの方・訪問診療を考えている方のお手伝いをします

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



ケアマネ

1人暮らしの A さんは、ペースメーカーが入っているのに、しばらく医療機関を受診していません。受診を勧めても「自分の身体は自分でわかっているから大丈夫。」と拒否しています。電池の交換も必要ですし、歩くと息切れしているので心配です。

<支援内容>

「苦しくなったら病院に行く。介護サービスも必要ない。」と主張する A さんへ以下のことを説明・対応しました。

- ① ケアマネジャーと一緒に何度も自宅を訪問して A さんとの信頼関係を築いていった結果、医療機関の受診に繋がりと、ペースメーカーのチェックをすることができました。かかりつけの医師からは内服薬の一包化とデイサービスに行くように指示がありました。
- ② 1人暮らしで物忘れの進行が見られるため、いざという時に備えて「**緊急医療情報キット**」を準備しました。A さんが望む医療やケア、望まない医療やケアを確認し記載した用紙を、「**緊急医療情報キット**」と一緒に冷蔵庫に保管しました。

「各地域包括支援センター」、「台東区役所 介護予防・地域支援課」で無料配布しています



ケアマネジャーより

在宅療養支援窓口の方々が、何度も訪問してくれて A さんにとって何が最善なのか一緒に考えてくれました。また、薬の飲み忘れが増えていることから、A さんの物忘れが進んでいることに気づいてくれました。一緒に訪問してくれて本当に心強かったです。



ケースを振り返って

A さんは一度に沢山の話をすると混乱されるため、A さんのペースに合わせて何度もご自宅に通うことで、関係を築き、信頼関係を維持する事を心掛けました。また、いざという時に A さんが望んでいる医療やケアを受けられるように、A さんの気持ちを普段から信頼出来る方と話し合い、救急隊や医療機関にスムーズに情報を伝える準備が大事だと感じました。

在宅療養支援窓口では、在宅療養における医療面を中心とした様々なご相談に応じます。

ケアマネジャーや医療関係者・医療機関のサポートも行っております。是非窓口へご相談ください！

台東区在宅療養支援窓口 電話:5603-0235

受付時間:月～金曜 9時～17時、土曜9時～12時

